



sapporo
education and culture hall
news

raku

KONGOURYU NOH
MATSUKAZE
MITOME
11.8 wed.



「特集」 伝統芸能文化創生プロジェクト

金剛流能
松風
見留

SAPPORO OPERA FESTIVAL

第12回 さっぽろオペラ祭 2017

2017.9.16(土) ▶ 2018.1.8(月・祝)

若林一郎 台本/林光 作曲

1幕オペラ
「おこんじょうり」
(北海道初演)

「あまんじゃくとうりこひめ」

2018年 小ホール

1月7日(日)15:00

1月8日(月・祝)15:00 開場はそれぞれ30分前

指定席...4,000円 自由席...3,000円
子ども券(小学生・中学生).....2,000円

※未就学児入場可(席を取る場合子ども券)

今そこに私たちと
違う世界のもの、
つまり「異界のもの」がいたら、
どうするか。

扉を開けるか、追い返すのか。林光が書いた、これらのオペラは「平穏無事な世界」の私たちにやさしく、そして鋭く問いかける現代の寓話です。



指揮:河本洋一 演出:三浦安浩
演出補:山田かおり 管弦楽:カンマーフィルハーモニー札幌
コレペティ:長谷川香里・守谷亜樹

さねとう あきらの童話による 1幕のオペラ
脚本:若林一郎
「おこんじょうり」

おこん:亀谷泰子、ばばさま:斉藤みゆき
ごんすけ:石田晃大(賛助)、じんご:三輪主恭(賛助)

若林一郎の台本による 1幕オペラ
「あまんじゃくとうりこひめ」

うりこひめ:中田晶子、あまんじゃく:南出薫、ばっさ:森千尋
じっさ:入江 毅、けらい:山本秀樹、とのさん:葛西智一

LCアルモーニカ

TEL.090-7050-9007
<http://armonica.ciao.jp>

高橋英郎・木下牧子 台本/木下牧子 作曲

残り
わずか

オペラ
「不思議の国のアリス」

(ピアノ8重奏版・北海道初演)
全2幕・日本語上演

2017年 小ホール

11月23日(木・祝)14:00/18:30

11月24日(金)18:30 開場はそれぞれ30分前

全席指定 A席 一般5,000円・子ども3,500円
B席 一般4,500円・子ども3,000円

※子ども券は4歳~中学生まで・3歳以下は要相談

ルイス・キャロルの不朽の名作
「不思議の国のアリス」を、
合唱曲で大人気の
作曲家・木下牧子氏がオペラ化!

2013年に大好評を博した日本語オペラの傑作が、
ピアノ8重奏版にスケールアップ!
みなさまを「不思議の国」へご案内します♪



指揮:鎌倉亮太、演出:齊藤雅彰、演出補:山田かおり
管弦楽:北海道二期会オペラアンサンブル
合唱:札幌山の手高校合唱部・北海道二期会合唱団
副指揮:今野博之・江川佳郎、合唱指導:幅野由美
舞台美術:高村由紀子
振付:山田恭也
舞台監督:下沢要

アリス:前田奈央子(第1,3公演)、平野則子(第2公演)
姉・ユリの花:増田享子(2役)、白うさぎ:相原智佳
笑い猫:下司貴大、ドードー鳥:清水邦典
公爵夫人:高坂淳恵、女王:荊木成子
ジャック:岡崎正治、帽子屋:江川佳郎、王:葛西智一
ケシの花1:延与幸恵、ケシの花2:桑島昌子

(一社)北海道二期会

TEL.090-6266-5313
<http://www.hokkaido-nikikai.com>

Community Dance Workshop

本事業は2年間継続事業で、昨年度は、「家」をテーマに主催事業「The home dance」を実施しました。今年度は、「私たちが住んでいる場所さっぽろ」をテーマに、「コミュニティダンスワークショップ」を実施しています。今年8月・11月・2月に分けてワークショップを行い、2月25日に発表公演を行います。



今後は、自主練習、11月、2月のワークショップを経て、発表公演を目指していきます。

「1期活動報告」 コミュニティダンスワークショップ



ワクワク ワーク ショップ

札幌市教育文化会館では、市民のみなさんが伝統芸能や音楽劇、ダンスなど様々なジャンルの芸術文化に触れる機会として、ワークショップ・講座を開催しています。みなさまの参加をお待ちしております。

コミュニティダンスワークショップ参加者募集

昨年に引き続き、今年も新たなダンスを札幌の皆さんと創作します。さあ、今年一体どんなダンスが生まれるのでしょうか?
日時: 11月23日[木・祝]~26日[日]、2月9日[金]~11日[日]、19日[月]~25日[日](発表公演:2月25日) 受講料: 5,000円
講師: 砂連尾理、櫻井ヒロ、河野千晶 対象: 中学生以上 定員: 25名(先着順) お申込み: 電話、FAXで随時受付中!



札幌市民交流プラザ
SAPPORO COMMUNITY PLAZA

【お問い合わせ】 TEL.011-242-5800 (平日9:00~17:00 土日祝休み)
【ホームページ】 <http://www.sapporo-community-plaza.jp/>



札幌市民交流プラザ外観

愛称が決まりました

札幌文化芸術劇場

hitaru (ヒタル)

札幌市民が思う存分、芸術に「hitaru(ひたる)場」という、応募者の思いが込められ、さらに「札幌文化芸術劇場」が市民に感動と喜びをもたらし、心豊かな生活を実現する場であって欲しいという期待が表現されています。

〈受賞者〉下國順子(しもくに じゅんこ)さん・札幌市(応募総数2,699通)

札幌文化芸術交流センター

SCARTS (スカーツ)

『札幌文化芸術交流センター』の英語表記である「Sapporo Cultural Arts Community Center」をアレンジ。札幌の文化芸術資産である「ひと・もの・こと」をつなげ、札幌の文化芸術を支え、育てていくことを目指して「Arts」部分を強調して表現しました。

札幌市民交流プラザ プレイベント

1 まちなかコンサート~北区

11月5日(日) 14:00開演 (15:00頃終演予定)

【会場】北海道大学総合博物館(1階ホール「知の交流」)
【出演】大塚直哉(チェンバロとお話)
【曲目】リュリ(ダンブルベル編曲):「アリスとガラテア」からシャコンヌ
ヘンデル:「歌劇「リナルド」から「涙の流れるまにまに」、J.S.バッハ:「シャコンヌ 他」
【料金】入場無料(定員70名・定員に達し次第、入場を締め切らせていただきます)
※当日、直接会場へお越しください

2 まちなかコンサート~白石区

11月25日(土) 14:00開演 (15:00頃終演予定)

【会場】白石区民センター(5階 区民ホール)
【出演】真貝裕司(カステネットとお話)、山本聖子(ヴァイオリン)、小杉恵(ピアノ)
【曲目】チャイコフスキー:「白鳥の湖」より「情景」「スペインの踊り」
ファリャ:「恋は魔術師」より「火祭りの踊り」 他
【料金】入場無料(定員300名、要整理券。詳細はホームページでお知らせします)

小林 なるみから指名→

さっぽろ 演劇人

No.011

やそ じま ゆう すけ
八十嶋 悠介

しんどい状況と「笑い」の
掛け合わせが興味深い

八十嶋悠介 プロフィール

2012年より自身のソロユニットとして「マイペース」を展開。デザイナーとしても活動しており、2016年のらてるね賞大賞を、劇団アトリエ「糞虫の動悸」と劇団パーソンズ『宇宙のはしっこ、はんぶんこ。』で受賞。

SAPPORO ENGEKIJIN YUSUKE YASOJIMA

2年間の充電期間を経て、2016年、コンカリーニョの演劇フェス「遊戯祭」で最優秀賞受賞。さらに同年、デザイナーを手がけた他劇団のチラシでらてるね賞(北海道演劇宣伝美術賞)の大賞をW受賞した八十嶋悠介さん。劇作と宣伝美術の両方で注目を集める彼が、今追求しているテーマとは？

——演劇を始めた経緯から教えてください。

2008年に大学の演劇サークルに入ったのがきっかけです。大学時代は、2年生の時に短編の作・演出を手がけた以外は、役者として客演したり、学内外でコントをやったりしていました。卒業後、2012年にBLOCHで上演した「ハナ」が、作・演出した2作目です。大学時代にせっかくお笑いをやってきたのに、「オシャレにしたら人気が出るんじゃないか？」と錯覚して笑いを一切捨てて作ったのですが、オシャレ路線はその一作だけでやめました(笑)。

——遊戯祭16の最優秀賞受賞作「ロックンロール捨てる」は、2年ぶりの作品でした。遊戯祭がなかったら、作品は作っていませんでしたか？

そうかもしれません。仕事が忙しくて離れていた期間も作りた気持ちには常にあったし、インプット期間にしようと思って、東京などに芝居を観に行ったり

もしていました。でも、僕の主宰する「マイペース」がソロユニットなだけに、ブランクが長くなるにつれて役者さんに声をかける、その第一歩がなかなか踏み出せなくなってしまう。遊戯祭に参加するということ誘いやすくなったし、やってみたかったことを試せて良かったです。

——やってみたかったこととは？

コメディには楽しいイメージがあると思うけど、楽しい状況で笑いをやるより、しんどい状況で笑いをやる方が、強く伝わるんじゃないかなと思っていて。「ロックンロール捨てる」は潰れた会社に出社してだらけてる人たちの話なのですが、上演してみても、状況が重い分、はしゃぐんだけど我に帰るっていう落差が生まれて、やっぱり良かったですね。

——「しんどい状況での笑い」は、今追求しているテーマですか？

はい。次に作った作品では「友人を自殺に追い込んでしまったクラスメイトたち」というさらにしんどい状況を用意して、見たくないものから目をそらし続けるためにはしゃぐ、現実逃避の話を作りました。11月に上演する『ばかものすべて』は、そのコンセプトで作る3作目で、集大成のような作品にしようと思っています。楽しみにしてください！

◎次回公演情報 | 遊戯祭16最優秀賞ごほうび公演「ばかものすべて」

○日程：2017年11月11日(土)～11月13日(月) ○場所：生活支援型文化施設 コンカリーニョ